

MASLD（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）に対するプラセンタの有効性

岡山大学 和漢医薬学総合研究所 神経機能学領域 教授/所長

東田 千尋（トオダ チヒロ）

座長：川口 光彦（医）川口内科 川口メディカルクリニック 院長

略歴

北海道出身

1989年 北海道大学 薬学部 製薬化学科卒業

1991年 北海道大学大学院 薬学研究科 博士前期課程 薬学専攻修了

1994年 北海道大学大学院 薬学研究科 博士後期課程 薬学専攻修了

1994年 富山医科薬科大学 和漢薬研究所 高次神経機能部門 日本学術振興会特別研究員

1995年 富山医科薬科大学 和漢薬研究所 臨床利用部門 助手

1996年 富山医科薬科大学 和漢薬研究所 附属薬効解析センター 助手

2007年 富山大学和漢医薬学総合研究所 附属民族薬物センター 薬効解析部 助教

2010年 富山大学和漢医薬学総合研究所 附属民族薬物センター 薬効解析部 准教授

2017年 富山大学和漢医薬学総合研究所 神経機能学分野（現・領域）教授

2025年 富山大学 和漢医薬学総合研究所 所長



所属学会

日本薬理学会（理事）、和漢医薬学会（理事）、日本神経化学会、日本薬学会、日本生薬学会、日本食品化学学会（理事）、日本神経精神薬理学会（評議員）、Society for Neuroscience

アルツハイマー病では、脳でアミロイド β が沈着し神経回路網が破綻することで認知機能障害が発症/進行します。しかし現在の承認薬では、認知機能障害の進行を遅らせるにとどまっているのが現状です。

認知症の予防や改善には、発症時期よりもはるかに早く始まる神経回路の破綻を食い止め修復することが不可欠です。その達成は容易ではないものの、神経回路修復活性を、植物性生薬や動物性生薬のエキスを化合物から探索する研究を行ってきました。その中でプラセンタエキスを注目しました。肝機能改善作用、美白効果、更年期障害改善など、多彩な作用を有するプラセンタエキスは非常にポテンシャルが高く、医薬品としてもアンチエイジング素材としても長年使われてきたものですが、その作用機序が十分に解明されていないところも興味深い点です。

私たちの研究では、記憶障害を既に呈しているアルツハイマー病モデルマウスに対して、ヒトプラセンタエキスを投与すると記憶障害が回復しました。ブタ、ウマのプラセンタエキスでも同様に記憶障害が回復することも初めて見出しました。またプラセンタエキス中の活性成分や、記憶改善の分子メカニズムもわかってきました。

本ランチョンセミナーでは、これら研究成果を中心に、プラセンタエキスによる脳機能への効果について紹介します。